

## 福祉サービス第三者評価結果（総括表）

### ①第三者評価機関名

一般社団法人いばらき社会福祉サポート

### ②施設・事業所情報

名称：ゆめいろ保育園	種別：保育所
代表者氏名：石川 ひとみ	定員（利用人数）：50 名
所在地：常陸太田市寿町 542-1	ホームページ：https://yumeiro.org
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 令和元年 10 月 7 日	
経営法人・設置法人（法人名等）：株式会社いばらきのケア	
職員数	常勤職員：12 名 非常勤職員：14 名
専門職員	保育士 19 名 栄養士 1 名
	看護師 1 名 調理師 1 名
施設・設備の概要	0 歳児室、1 歳児スペース（ほふく室）、 2 歳児スペース 3・4 歳児室、5 歳児室
施設・設備の概要	医務室、調理室、給湯室 絵本コーナー

### ③理念・基本方針

【理念】子ども達が、最高の笑顔と健やかな成長を得られるように、子ども達の安心安全を第一に考え、目の行き届いた丁寧な保育を行っていきます。いきます。

【基本方針】お子様と保護者の気持ちに寄り添う保育を提供します。

大切なお子様を愛情いっぱいお預かりします。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

・企業主導型保育事業として、多様な働き方に対応している。入所申し込みが、保育園に直接できるため、空きがある場合は、すぐに入所の手続きをおこなうことができます。

#### 【保育内容では】

(1)ゆめいろ保育園は、子ども達一人ひとりに丁寧に目が行き届くよう、少人数制です。子ども達にたくさんの愛情を注ぎ、成長を見守る中で、個性を伸ばします。午前中は、外遊び・散歩を主活動とし、たくさん外遊びをし、豊かな感性を磨きます。

～午後4・5歳児はお昼寝がない為、以下の活動をします～

・常陸太田市内外でダンススクール(SPACE H.A.G)を行っている、片根真知子先生に手持ち和太鼓を取り入れたダンス指導をしていただきます。

- ・常陸太田市で Tim's English school を行っている, Tim 先生の『英語で Go!』を月3回取り入れます。
- ・全国手話検定1級取得の園長が遊びや活動の中で手話を取り入れます。
- ・折り紙講師資格取得保育士が折り紙の指導をします。
- ・年齢や成長に合ったワークブック(文字・数字など)に取り組みます。

**(2) 衛生管理の行き届いた清潔な園内。市内初、体調不良児型保育を実施！**

子ども達や施設の衛生管理を行う看護師が常勤で従事します。急な発熱、嘔吐時等は、保護者様がお迎えに来るまで、看護師が医務室で看護いたします。医務室で看護するため、他児への感染を最小限にします。※病児・病後児ではありません。利用できるのは、在園児のみです。(無料)

**(3) 少ない荷物で、らくらく登園！**

職場やご自宅の近くに保育園があると、安心して仕事に向かえます。また、送迎時間を短縮でき、体力的にも精神的にも負担軽減ができます。子育てはただでさえ忙しく、体力も使うからこそ、保育園は気持ちを楽にご利用いただきたい…。そんな気持ちから、汚れた洋服、布団の洗濯などは、すべて保育園が行います。(嘔吐時のみ感染症予防のため持ち帰り) 登園時の持ち物は、おたより帳(全園児)・連絡帳(2歳児まで)・水筒(3歳以上児)のみになります。

**(4) 身の回りのことを自分で行う力を育てます！**

登園時荷物が少ないから“自分のことをしなくても良い”のではなく、子ども達は保育園で身の回りのことを行えるようにします。子ども達は、洗濯物の手伝い、上履き洗い、持ち物の整理整頓など、日々の積み重ねで、今何をしたら良いかを自分で考え、行動できる力を培います。

**(5) 質の高い保育を目指します！**

職員研修を行い、保育の方向性を統一します。子ども達・保護者様への対応、保育内容、事例検討、保育内容の反省、職員会議を定期的に行い、常に向上心をもって保育に取り組めるようにします。

**(6) 栄養士(幼児食インストラクター資格取得済)が、入所児童の状況に合わせて、献立作成、食事を提供いたします！**

栄養士自身が子ども達の食べる様子を観察し、子どもに適した食事であるか、また、提供量と摂食量の検証も行い、子どもにとって“おいしい食事”、“楽しい食事”となるよう心がけていたします。

**(7) 子ども達の安全を守ります！**

セキュリティロック付きの門となります。(ICカードの導入)防犯カメラを保育室、玄関、保育園裏に設置しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年9月20日(契約日)～ 令和5年1月26日評価結果確定日)
--------	--------------------------------------

## ⑥総評

## 【特に評価の高い点】

## ・豊かな感性を育てる

子ども一人ひとりに丁寧に行き届くよう少人数制で午前中は外遊び・散歩を主活動とし、たくさん外遊びをして豊かな感性を磨けるようにしています。開園して間もなくコロナ感染症の流行に伴い、子どもの受け入れにも困難な時期が何度とありましたが、働く保護者のため感染症対策を昂じた上で子どもの受け入れに努めています。

## ・外遊びの場として

たくさん外遊びができるよう、園舎脇の第一園庭の他に第二園庭を設け、年齢に応じて体を動かしています。遊具の他に四季を感じる事の出来る樹木が植栽され野趣あふれた場所になっており、子どもたちが季節の移ろいを感じながらの活動に活用されています。また、園庭でバケツ稲や野菜を育てて食に興味を持てるような取り組みも行っています。

## ・ぶれない保育方針

園長は全職員が同じ方向を向いて仕事をする、そのことを重要と考え、職員会議や職員との個別面談等機会がある事に、保育理念、保育方針の確認を行い、保育園全体での保育の方向がぶれないように努めています、また職員の健康な体と心が良い保育に繋がるとの考えから、職員との面談等では小さな不安や不満、悩みの解消に努めています。

## ・質の高い保育を目指して

職員研修、事例検討、保育内容の反省、保育士の自己評価を基にした面談での課題解決、職員会議を定期的に行い、常に向上心を持って保育に取り組めるようにしています。

## 【改善を求められる点】

## ・中・長期計画の数値目標などの具体的な設定

中・長期計画として5項目が掲げられています、策定された中・長期計画について数値目標や具体的な成果等を設定することで実施状況の評価が行える内容となるようにしたり、中・長期計画をより具体的な内容にして単年度事業計画に反映させる取り組みの実施が望まれます。

## ・経営状況や経営課題について職員に周知し共有していく

経営状況や経営課題については職員に周知されていることが、経営課題の解決や改善等にむけての前提条件となります、経営上の課題を解決していくためには、職員の意見を聞いたり、職員同士の検討の場を設定するなど、組織的な取り組みを望みます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当園は、企業主導型保育園として令和元年10月に開園いたしました。

開園から3年が経過し、以前から第三者評価を受審したいという考えがあったことから、立ち上げからの保育運営の中で至らない点はないか、また、改善すべき点はどのようなことなのかを明確にしたいと考え、(一社)いばらき社会福祉サポートに第三者評価を依頼しました。

当園の保育園の保育理念は“子ども達が、最高の笑顔と健やかな成長を得られるように、子ども達の安心安全を第一に考え、目の行き届いた丁寧な保育を行う”また保育方針は、“お子様と保護者の気持ちに寄り添う保育を提供する”としています。

子どもが、「保育園大好き。」と通園できるよう、保育士は子どもにとって大らかな安心できる存在になることが大切です。子どもが楽しく通園できることは、保護者の安心や信頼にもつながります。その為には、【子どもに絶対に威圧的な態度は取らない】【子どもの気持ちに寄り添う】【子どもにとって魅力ある保育士になる】ことを念頭に置き、職員一同、同じ方向を向いて保育をしていけるよう管理をしています。

また保育士は、なかなか休憩が取れないこと、仕事量の多さや責任の重さから離職率が高い職種と言われています。“保育士になりたい”と夢と希望を抱き仕事に就いても、理想と現実の違いから志半ばで挫折してしまう…。当園では、“保育士が、仕事を続けたいという気持ちが継続できる保育園にしたい”という考えから、保育士が休憩に入る際、代わりにクラスに入る【休憩代替え保育士】を取り入れています。休憩代替え保育士を取り入れていることによって、クラスを持つ保育士は、休憩や事務に入ることができ、製作物も分担できることから負担軽減につながっています。労務環境を見直すことで、保育士の気持ちに余裕が生まれ、温かな気持ちで子ども達に向き合うことができています。今後も、より良い保育を行うために、子ども達だけでなく、職員の心や身体の健康も大切にしていきたいです。

最後に、今回の第三者評価受審にあたり、多くの資料に目を通し、長時間にわたり園のことを熱心にお聞きいただいた(一社)いばらき社会福祉サポートの皆様には心より感謝申し上げます。基準となる(b)評価だけでなく、(a)の高評価

を数多くいただけたこと、また改善を要する(c)評価がなかったことは、職員にとっても更なる向上心につながることになりました。保育運営内容だけでなく職員のことをお褒めいただけたことは、管理者として大変光栄な思いと同時に、保育理念を遵守して勤務して下さる職員に感謝の気持ちでいっぱいです。しかし、学び改善すべきことや、保護者のサポートをする中での配慮すべき課題も見えてきました。この結果に満足するのではなく、子どもと保護者の気持ちに寄り添う中で、更なる質の向上を目標とし、邁進していきたいと思います。そして、子ども達に「保育園大好き。」と言ってもらえるよう温かな保育園づくりを目指します。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）

